

## 平成28年度「校外へ公開する研究授業」実施報告書

学校名	飯田高校	課程	全・定午前午後夜ⅠⅡⅢ・通
-----	------	----	---------------

本年度実施した「校外の人々を対象とした研究授業」について、次のとおり本校ホームページに掲載したことを報告します。

ホームページ掲載日	平成 28 年 10 月 21 日 ( 金 )						
実施年月日(曜)	平成 28 年 10 月 20 日 ( 木 )						
授業時間(時限)	11 時 05分～ 12 時 05分 ( 3 時限)						
公開学年・公開教科(公開授業名)	1年 コミュニケーション英語Ⅰ						
授業者名	林 依歩						
形 態	初任 10年研・教育課程研究委員会・ 小中高算数・数学研究会・その他 ( ) (○をつける)						
授業公開対象者	校内外教職員と関係者						
授業参観者数	校内		校外			その他	合計
	教職員	保護者	教職員	地域住民等	生徒	( )	
	12人	0人	0人	0人	0人	0人	12人
校外の人々の参観にあたって特に配慮した取組	<ul style="list-style-type: none"> <li>・駐車場・会場準備</li> <li>・公開授業教材プリント・指導計画案配布</li> </ul>						
授業研究会の時間・参加者の範囲・参加人数・参加者から出された主な感想・意見	12:10～12:25 教科内7人 校内職員5人 <ul style="list-style-type: none"> <li>・暗唱活動は効果的。量を増やしていくとよい</li> <li>・small talkのやり方がまだ身につけていない生徒がいる</li> <li>・活動をしていない(少数の)生徒に対しての声かけや働きかけ</li> <li>・指導者側のよりきめ細やかな準備(質問内容やグループの形成など)</li> </ul>						
成果と課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・予習をしっかりしていることがわかった</li> <li>・生徒が楽しく授業に参加していた</li> <li>・発表・説明を聞く側の生徒への指導をもっと工夫するべき</li> <li>・生徒が考える・悩む時間をもう少し確保するべき</li> </ul>						

(注)「校外へ公開する研究授業」実施後、その都度直ちに、内容を各校ホームページに掲載するとともに、それと同様のものを電子メールの添付ファイルで送付してください。様式については、これ以外の項目を付け加えるなど、各校で工夫していただいて結構です。